

筑摩だより

松本市立筑摩小学校

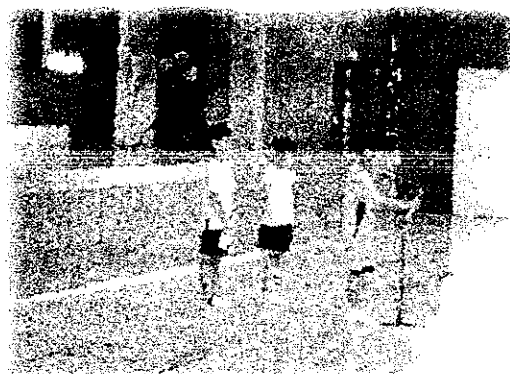
令和7年9月 発行

松本市筑摩1-8-1

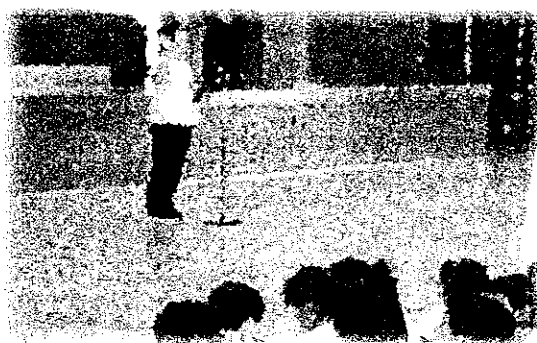
電話 25-0090

さらなるチャレンジの2学期に

28日間の夏休みを終えて、8月22日（金）に2学期の始業式を行いました。始業式ではまず、夏休みのコンクールでがんばった合唱と金管バンドの表彰を行いました。他校と比べて少人数での発表でしたが、日頃の練習に加えて夏休みの練習でとても上手になった成果を堂々と発表してくれま



した。続いて1年生の代表児童3名が2学期の目標を発表しました。4月に入学をしたばかりの1年生が、全校の前で堂々と発表する姿に1学期での成長を感じました。



学校長からは「2学期も自分が好きなことを大切にしていきましょう。合唱のみなさんも金管バンドのみなさんも、自分の好きなことに取り組み、夏休みの発表を通して達成感につながりました。みなさんもこの2学期にぜひ達成感につながるように取り組んでみてください。そして、2学期は取り組む前の準備も大切にしていってほしいと思います。」と話がありました。

2学期も「チャレンジ！始める一歩・続ける一歩」を合い言葉に、様々な活動や体験を通し、自分の成長を振り返りながら、さらなるチャレンジの2学期としていけることを願っています。地域や保護者のみなさま、2学期も筑摩小学校の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。



第2回コミュニティースクール(CS)学校運営協議会

今年度、筑摩小学校はコミュニティースクール国型制度導入のモデル校に指定され、CS推進員が地域とつないで1学期に様々な活動を行ってきました。夏休み中には筑摩小学校を会場に、学校職員・PTA・地域の方が、少しでもお互いの顔を覚えることを目的に「おしゃべり会」を行ない、「どんな子どもたちに育ててほしいか」という話題でワークショップをしました。また、夏休み明けには筑摩



夏休み中の「おしゃべり会」



夏休み後の
「子どもたちの学びを考える会」

小学校地域学校協働本部が、公民館を会場に「各地域での困りごとや子どもたちとの関わりについて」を考え合う「地域の皆様と子どもたちの学びを考える会」を行ないました。そして、そこで出された意見を踏まえ、9月2日（火）に第2回CS学校運営協議会を行いました。協議会では、1学期の活動の振り返りと、育てたい子どもの姿に向けて「地域の方との関わり」「キャリア教育」「居場所・学習の場」「地域をこえた関わり」の4つのテーマについて熟議を行いました。

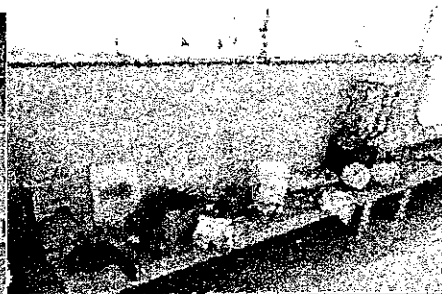
学校としてできそうなこと・地域としてできそうなことの視点から、「地域の方と一緒にゴミ拾いや清掃活動をする」「様々な行事に地域の方をお誘いする」「職場見学をする」「学校を開放して様々なスポーツ体験をする」「学校にコミュニティールームを設置する」「学校を会場に放課後子ども教室をする」「他地区のお祭りの舞台やお囃子・引き手の手伝いをする」「学校で人手を募集する」など、多くの意見が出されました。2学期はこの中から少しでも実現に向けて取り組んでいきたいと思ひます。

※7月28日（月）の「筑摩小学校おしゃべり会」の様子が、中信教育事務所のホームページに「学校訪問だより」として載っていますのでご覧ください。

8月の学校での様子



第2回学校運営協議会



夏休みの作品展

夏休みの作品が各学年の廊下に展示されています。昨年度より充実した内容の作品が多く、本校がこれまで取り組んできている「自分の学びを計画し、自ら進めていく力」の成果が、夏休みの作品にも表れているように思ひます。FSPなどでご来校の際に、保護者や地域の皆様もぜひご覧ください。



8/25～29 全校 たくさんあいさつしよう週間
2学期の最初、みんなであいさつをたくさんして気持ちよくスタートをしたいと願ひ、児童会の代表委員会が企画して行われました。これからあいさつの輪が全校に、さらに地域のみなさんにも広がっていけると素敵だなあと願ひています。

8/26 1年 外国語活動

8/27・28 全校 読み聞かせ

2学期がスタートして1週間の間に、ECメイプルによる外国語活動、かえでの会による読み聞かせがありました。地域の方による活動が2学期も継続して行われていきます。